

## 税収不足のなか道の駅の財源はない



答弁

財源を確保しながら進めていき  
たい

市長

私のもとには早く実現してくれという人がいる。財源の確保と地域の活力の為に遂行する。

議員

雇用千人をどうやって実現するのか。市税をプラスではなく失血でしょう。どんどんやって下さいと言うのは、建設業界の人でしょう。その人らは死活問題ですから。

副市長

地方創生地域再生計画など補助金を確実にする作業を進める。

議員

私が責任者であったなら補助金は出さない。先が見えないし、活性化など出来る訳がない。机上の空論を聞いても時間の無駄である。コロナで休業した場合、道の駅の休業補償はどういうことになるのか。とうてい市では休業補償できない。

副市長

指定管理者との協議により決定していく。

議員

随分いい加減な契約である。それでは契約ではない。

## シルバークラブ活動の支援について



答弁

社会福祉協議会と連携し活動の支援をしていく

市長

とするために必要な研修の検討を行い、支援していく。

議員

会員減少の大きな要因に交通手段がないという問題があり、さらに当市では、免許証の自主返納を勧めている。車に乗れなくなつた方の移動手段について、どのように考えているか。

保健福祉部長

当市では、庁用バス運行管理要領に基づきバスの貸出しを行っている。社会福祉協議会が主催する高齢者スポーツ大会、高齢者新春芸能大会、高齢者の生きがいづくり、健康づくりといった行事に利用できる。バスの利用については、事務局である社会福祉協議会を通して申請をお願いする。

議員

シルバークラブの目的は、いつまでも健康でいることだと思ふ。今後も社会福祉協議会と連携して、会員の活動する場を設けると同時に移動手段も考えてほしい。

保健福祉部長

会員を増やすために、リーダーの選出や育成について、どのように考えているか。

議員

毎年、茨城県老人クラブ連合会研修や女性リーダー研修などに参加している。シルバークラブを活性化させ、魅力ある組織

保健福祉部長

当市のシルバークラブ加入率は9.3%で、茨城県内の市の加入率の平均と同率である。高齢化によりクラブ活動が困難となり会員が減少した。今後、クラブを存続させていくためには、魅力ある活動を行い、新規加入者を増やしていくことが必要と考え、引き続き社会福祉協議会と連携しながら、活動の支援をしていく。

議員

シルバークラブの会員が年々減少し、さらには活動への参加者が減っていることについて、どう考えているか。